

佐倉市学校プール・市民プール再編に向けた調査業務委託 報告書概要版

1. 本業務の概要

(1) 背景と目的

本業務は、老朽化の進む学校プールや市民プールの再編・再整備を通じて「市の財政負担等の軽減」と「市民満足度の向上」の両立を可能にする再編事業モデルの構築を目的とする。

水泳指導補助の民間委託の開始

(耐震改修工事に伴う学校プール廃止の代替措置)
佐倉小 (H25年度～)、西志津小 (H26年度～)

教職員や児童にも総じて好評、高い満足度

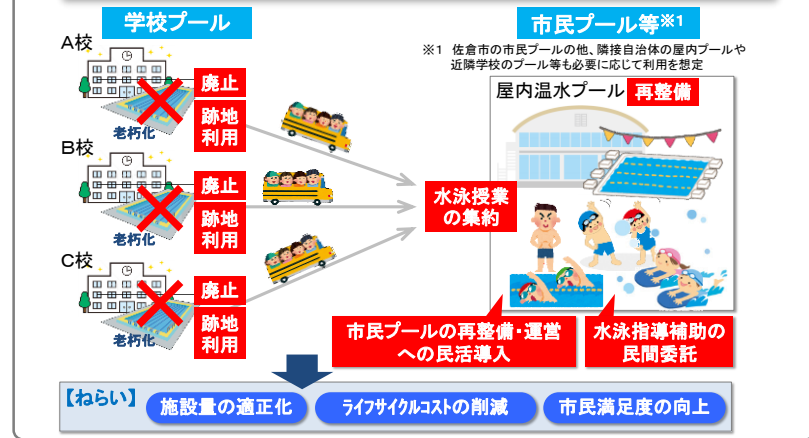
学校プールの老朽化対策や維持管理コスト負担軽減の必要性

水泳指導補助の民間委託を市内全校に拡大できないか⇒授業の受け入れ先確保が課題

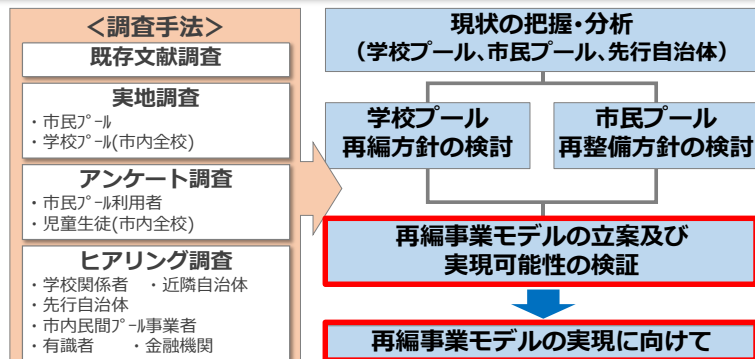
<佐倉市の取組の動機>

- 学校プールを廃止し、新たに通年利用できる温水プールを整備して授業を集約できないか。
- 学校プールに費やす維持管理コストや改修コストを財源とし、新たに市民プールが整備できないか。

本研究 (再編事業モデル)

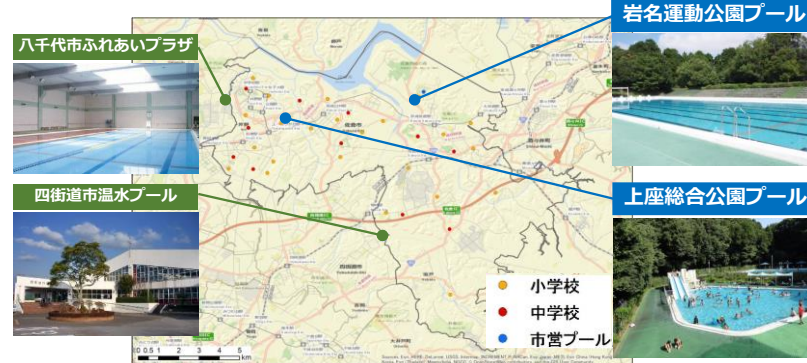


(2) 調査・検討事項

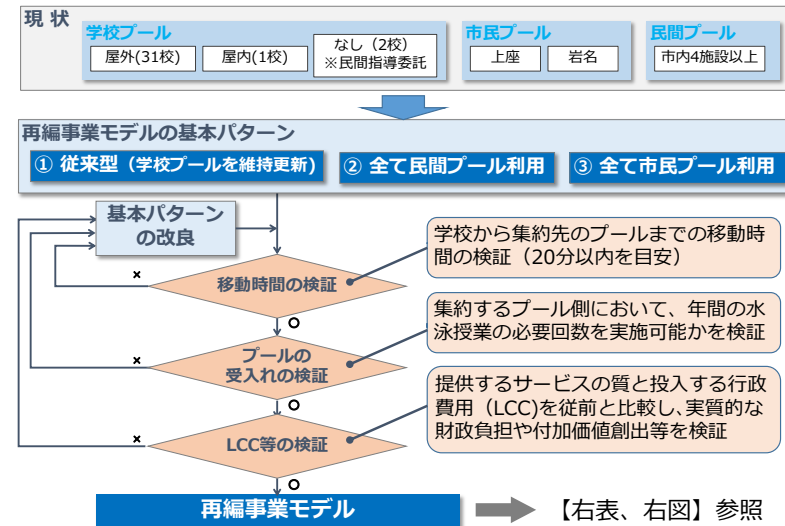


(3) 再編事業の対象としたプール

①市内32の小中学校のプール(うち1つは屋内プール)、②市民プール(上座、岩名)のほか、③近隣自治体の市営プール(八千代市、四街道市)、④市内の民間プール施設を対象とした。



2. 再編事業モデルの立案



再編事業モデルの検証結果

	①従来型	②全て民間プール	③全て市民プール	【再編事業モデル】 (学校プール廃止+市民プール整備+水泳指導補助の全校拡大)
移動時間の検証	○ これまで通り (移動なし)	○ 市内各地に立地しているため	× 市南部の学校から市民プールが遠い	○ 市南部の学校は根郷中プール (屋内) を拠点校として集約
プールの受け入れの検証	○ これまで通り	× 授業で利用可能が休館日のみのため	—	○ 南部は根郷中に集約、2校は民間プールでの指導委託を継続
LCCの検証	△ LCC変わらず、新たなサービス・付加価値なし	—	—	○ 将来かかる予定の学校プールの維持更新費と通年利用で増える利用料金収入で、新たなサービス (市民プール再整備、水泳指導委託) を実施可能
水泳指導補助民間委託拡大	変化なし (従来2校のみ)	—	—	○ 市内全校 (34校) に拡大
市民サービス向上	変化なし	—	—	○ 市民プールは通年利用が可能に健康増進施設として新たなサービス提供

再編事業モデル

	従来型	再編事業モデル (学校プール廃止+市民プール整備+水泳指導補助の全校拡大)
学校プール	● 現在の32校の学校プールは現状のまま維持・更新	● 屋内プールの根郷中は拠点校として現状のまま維持・更新 ● 他の31校の学校プール (屋外) は全て取り壊し、跡地を有効利用
市民プール	● 上座・岩名は現状のまま維持・更新	● 上座・岩名ともに通年利用可能な屋内温水プールに改築
水泳授業	● 市内34校のうち2校 (佐倉小、西志津小) は水泳指導補助の民間委託を継続 ● 他の32校は学校プールで水泳授業を実施	● 市内全34校に水泳指導補助の民間委託を拡大 - 2校 (佐倉小、西志津小) は引き続き民間プール - 他の32校は新たに建設する通年利用可能な屋内温水プール、或いは根郷中学校プール (屋内) を拠点として実施

再編事業モデル

